

つちまる通信 33



第4回つちまるふえす開催!

4月6日に、亀城公園でつちまるファンクラブイベント「つちまるふえす」を開催しました。多くのお友達が遊びに来てくれて、みんなで写真を撮ったり、だるまさんが転んだをやったり、じゃんけんしたり、釣りをしたり…。とっても楽しかった!また一緒に遊ぼうね!!



千姫まつりに遊びに行ってきました!

4月13日に、常総市の「水海道千姫まつり」にキラちゃんと一緒に遊びに行ってきました。土浦市を一生懸命PRしてきたよ。多くの人に土浦に遊びに来てほしいなあ。



つちまるファンクラブ会員募集中!

ファンクラブ協賛店で特典が受けられる会員証発行、メールマガジン配信、グリーンティングメール配信などの特典があります。

詳細、申し込みはこちら→



つちうら咖喱物語通信

Vol.1

●土浦とカレーの由来

土浦市には、昭和4年にドイツの飛行船ツェッペリン伯号が世界一周の途中、霞ヶ浦に飛来した際、右舷産のじゃがいもを使ったカレーを乗組員にふるまいもてなしたという歴史があります。

また、山本五十六が神龍寺に下宿していた際、激辛カレーを食べて暑気払いをしたという逸話が伝えられるなど、土浦とカレーとの間には深い歴史的つながりがあります。

●カレーによるまちづくり

平成16年に、市民・事業者などによって「食のまちづくり検討委員会」が組織され、市の歴史や食文化を活かした「食によるまちづくり」を通じて中心市街地に賑わいを創出しようという取り組みが始まりました。

平成17年には、愛知万博に合わせて飛来することになった飛行船ツェッペリンNT号を迎えることに合わせ、土浦商工会議所女性会により、昭和4年のカレーを再現し、現代風にアレンジ、土浦特産のレンコンなどの食材を活用したツェッペリンカレーを開発するとともに、第1回土浦カレーフェスティバルを開催しました。

フェスティバルだけでなく、カレーによるまちづくりに賛同する事業者が中心となった「つちうらカレー物語事業者部会」により、カレーに関する研究会などを通年で開催し、

オリジナルメニューの開発・味の向上などを図っています。

また、県内外のご当地グルメのイベントやご当地カレーのイベントに積極的に出展し、土浦のカレーのPRを行っています。



●土浦カレーフェスティバル

土浦カレーフェスティバルでは、常磐線沿線のご当地グルメが集結するイベントや、カレーナンバーワンを決定する「土浦C-1グランプリ」、横須賀市などカレーによるまちづくりに取り組む都市を迎える「カレー5大都市カレーサミット」、100種類以上のレトルトカレーを集めた「カレー博」などカレーや食にかかわる企画を実施してきました。

最近では、県内や関東地方だけでなく、北海道から九州まで、全国のご当地カレーを味わえる「食の祭典」として、3万人以上の来場者を迎えるイベントに成長しました。

●今後の取り組み

カレーフェスティバルを中心に賑わいを創出してきた「カレーによるまちづくり」の取り組みを商店街の賑わい創出につなげるため、「つちうらカレー物語事業者部会」とともに、レンコンなどの地場産品を活かした新たなオリジナルカレーの開発や、さらなるレベルアップを図っていきます。